



独立行政法人  
 農業・生物系特定産業技術研究機構

# 北海道 農業研究センター

住所 / 〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地  
 TEL / 011-857-9260 FAX / 011-859-2178  
 ホームページ / <http://cryo.naro.affrc.go.jp/>

**北** 海道のイメージといえば、「夏は涼しく、冬は寒い」や「広大な大地」が浮かびませんか。

このような気象条件や恵まれた自然環境の中で、大規模な農業が行われ、わが国最大の食料供給基地といわれているのが北海道です。

北海道には、全国の農地の約25%（約118万ha）があり、小麦、ばれいしょ、牛乳などの多くの農産物が生産量全国No.1です。



## 北海道農業研究センターでは、何をやっているの？

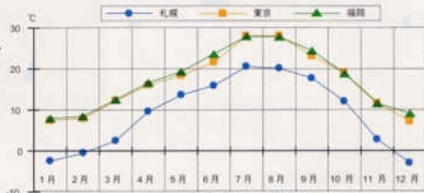
**北** 海道の大規模な畑作や稲作について、厳しい寒さに打ち勝って安定生産できる農業技術や、農産物を加工して体によい食品を開発する研究をしています。

また、同じような気象条件にあるアメリカ、カナダ、ロシアなどの国々と研究交流も行なっています。

いろいろな研究の中から、北海道に適した新品種と新技術の開発の一部を紹介します。



大規模な畑作経営と酪農経営が混在する十勝平野



2002年 月別平均気温 (気象庁調)



北海道農業研究センターは札幌市近郊にあり、広大な敷地 (823ha) の中で研究が行われています。自然が豊かで、札幌市のオアシス的な存在にもなっています。

## パン用の小麦新品種「キタノカオリ」



左：キタノカオリ 右：ホクシン

**国**内で作られる小麦の多くが、うどん用の品種です。パンやラーメンにむいた品種は少ないため、その多くを輸入に頼っています。

北海道には、パン用の有名な品種として春まき小麦「ハルユタカ」がありますが、栽培が難しく生産量があまり多くありません。

そこで、新しく開発されたのが、寒さや病気に強く、おいしいパンができる秋まき小麦新品種「キタノカオリ」です。海外の小麦に負けない品種として期待されています。

## アルファルファ新品種「マキワカバ」と「ヒサワカバ」

**家**畜の飼料用として作られるマメ科牧草の中で、アルファルファは高品質のタンパク質やミネラルを多く含み「牧草の女王」と呼ばれています。

北海道の寒さに負けない新品種の開発が長い間求められていました。そのため新しく作られたのが、雪に強い「マキワカバ」と寒さに強い「ヒサワカバ」です。この2つの品種は収穫量も多く、家畜の良い飼料として期待されています。また、さらに寒さに強い新品種「ハルワカバ」が育成されました。



アルファルファ新品種「マキワカバ」

## 北の国の水稲直播技術



大区画水田における水稲の乾田直播作業

**水**稲栽培では、ふつう苗を育てて田植を行いますが、田んぼに直に種を播く方法が直播です。直播には乾田直播とたん水直播があります。

乾田直播は水の無い田んぼに種を播き、気温が上がってから水を入れる方法で、たん水直播のように代かき（田んぼに水を入れて、土をどろどろにかき混ぜる）がなく、農作業が楽です。また、種播きを早めることができるので、稲の生育に適しています。田んぼから畑にきりかえもやりやすくなります。このように広い北海道の水田にとっても適している乾田直播の技術が完成しました。